

新入会員の紹介

森木 林(もりき・りん)

現在、児童文学の団体に所属させて頂いておりますが、YA向きの言葉や抽象的な内容になることが多く、他者に伝えることの難しさを実感しています。書きたいことを詩の形にできたら、と憧れておりました。この度、入会の機会を頂きまして、カルガモのびよびよ状態ですが宜しくご指導頂きますと幸いです。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

そら 森木 林(もりき・りん)

ずっと 思いこんでいた
そら は 見上げるものだと

けれど ああ
もしも 大地が
透きとおったなら

水晶玉の むこうには
果てしない 星 星 星・・・

ぼくらの 足もとには いつも 星ぞらが
ひろがっている

田中猫夢 (たなか・ねこむ)
住所抹消

グラフィックデザインの仕事をしながら、猫夢のネームで絵と詩をかいています。長年猫と暮らすことで、人としての孤独や痛み、そして垣間見える事象の輝きや、はかなげな自然の美しさなど、詩のある時間の感じ方を猫に与えられているように思います。



遠い薔薇 I 田中猫夢

この地球の内部には大きな海が眠り
宇宙の奥には輝く銀河の薔薇が咲く
という美しいニュースは
最新の科学によってもたらされた

今日は六月の 十三日の金曜日
そして花びらのように儂い
一〇〇年に一度のハニー・ムーン
猫も尻尾を渦巻いて眠る

静かに積もってゆく日々のダストは
いつか記憶の海で 渦巻く薔薇となるのだろうか

外では 薔薇たちが急勾配のスロープで
秘かに空へとシュートを伸ばしながら
花という複雑な未来のために
今夜も古代からの秘密の反復を続けている

ホームページ報告

《会員の詩》三篇 (11月1日～翌1月31日)
熊井三郎「伝説」、佐相憲一「セツブンソウ」
白川淑「花道」
《会員のエッセイ》
松村信人
「追悼・長谷川龍生さん」(12月1日～12月31日)
斉藤明典「一日一膳」(1月1日～1月31日)
《会員の活動》(2020年2月23日)
響き合う東西詩人：ポエトリーリーディング in
Kyoto 2020 (文責 松村信人)

退会 モリグチタカミ、藤原節子、吉田章子、
後山光行、土井直也、晴 明太、ほりちかほる、
水谷なりこ (9/5逝去)、津坂治男 (9/22逝去)、
松本一哉 (12/15逝去)

本年度の予定

文学散歩

宮本輝の太宰治賞を受賞した小説『泥の河』
を読み、その舞台と成った安治川周辺を辿り
ます。5月16日(土曜日)です。日程を空け
ておいてください。ルートの詳細と参加希望
のハガキは次号(97号)の会報に掲載します。
たくさんの方のご参加をお待ちします。

『泥の河』の朗読テキストを作っています。
朗読希望の方は永井ますみまでお知らせ下さ
い。先回の『死者の書』と同じく30分位で、
朗読者は6～10名を予定しています。必ず
文学散歩に参加が可能というのが条件です。

詩画展と詩話会

冬の詩画展は参加者25名で終了しました。会
場の大阪市立図書館は、立ち止まって見て下
さる方が多くて展示のしがいのある場所なの
ですが、春から夏にかけての交渉が成り立た
ない状態になっていますので、これも次号に
は予告ができると思います。
詩話会担当高丸もと子さん、藤谷恵一朗さん
と決まりましたが、会場と日程を詩画展と連
動させるため、まだ具体化していません。

運営委員の選挙があります

規約により運営委員から2名、会員から3名
の選挙管理委員を決めることになっています。
7月の会報と一緒に選挙用紙をお送りします。
関西詩人協会からの会報は必ず開けてください。

入会

張 華 (ちようか)
来羅ゆら (らいらゆら)
詳細は次号に載ります。